

設置協定調印式が行われました



▲写真左から、東町長・小野議長・村永野方公民分館長・前畑市長・楠田専務

11月13日、大崎町は荒尾競馬組合（管理者 前畑淳治荒尾市長）との間で、大崎町議会小野光夫議長並びに村永鹿男野方公民分館長立会いのもと、場外発売所（通称『ニューウェーブ大崎』）設置に関する協定を締結しました。施設の設置場所は、野方地区・照日神社付近（下記地図参照）で、敷地面積7、976平方メートル、建築面積1、720平方メートルが計画されています。

本町は昨年より、地域住民の同意のもと、雇用の場の確保、地域の活性化、町に納入される交付金、税収の増加など、いろいろな波及効果が見込まれることから、この計画の実現に向けて取り組んでまいりました。

この間、荒尾競馬組合側も防犯などに関する事項を警察署と協議を重ね、最終的に農林水産大臣の設置承認を受けたことに伴い、本町との協定締結に至っています。

この協定の内容は、野方地区から提案された交通・治安・環境・青少年・地域振興などの対策を町としても重ねてお願ひし、協定の中で遵守事項として盛り込まれています。さらに、町に納められる交付金（発売金額の概ね1%）の

取り扱いについてもさまざまに地域振興策の財源として活用される見込みです。

今回の調印に際し、東町長は「野方地区は昔からの馬産地、イメージとしてふさわしい。野方地域の方々や多くの関係機関のご協力により実現することになりました。みなさんから愛される施設になることを期待します。」さらに、前畑荒尾市長は「軽種馬の産地として知られる野方の地で、馬の文化を展開できることは本当に心強い。ぜひ地域の振興に貢献したい。」と話していました。

なお、施設名称の『ニューウェーブ大崎』とは、『新しい時代の波をここ大崎の地から』という願いが込められています。

